



ジャック・オー・ランタン作り

NJ日本人学校初等部
ハロウィーン

ニュージャージー日本人学校(岡村富広校長)の初等部は10月27日、ジャック・オー・ランタン作りを行った。

前々日には学校の校庭でパンピングピッキングを行い、自分の好きなカボチャを選んだ。

米国文化を理解する目的で、ESL教員が中心となって計画。子供たちの顔ほどの大きさがあるカボチャを切り抜くところから開始し、1時間から1時間30分程度でそれぞれ思い思いの作品を完成させた。

中身を取り出す際にはぬるぬるした感触に抵抗がある児童もいたが、慣れてく

るととても真剣な表情で、自分の顔の大きさほどあるかぼちゃと向かい合っていた。

伝統的なジャック・オー・ランタンの顔や好きな動物のモチーフ、串などを利用した立体的な顔など、それぞれこだわりの作品が出来上がった。

完成したジャック・オー・ランタンに火を灯すと、暗がりに浮かぶさまじい表情が浮かび上がり、歓声があがった。

ハロウィーンまで家庭で楽しめるよう、児童は大切に持ち帰った。